

## 南九州大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム モデルカリキュラム対応表

2025(令和7)年度以降

授業に含まれている内容・要素			環境園芸学部 環境園芸学科					人間発達学部 子ども教育学科				健康栄養学部 管理栄養学科				健康栄養学部 食品開発科学科				
			アカデミックスキル	統計学の基礎	データサイエンス入門	・コンピュータ基礎A	・コンピュータ基礎B	アカデミックスキル	統計学の基礎	・コンピュータ基礎A	・コンピュータ基礎B	アカデミックスキル	統計学の基礎	・コンピュータ基礎A	・コンピュータ基礎B	アカデミックスキル	統計学の基礎	データサイエンス入門	・コンピュータ基礎A	・コンピュータ基礎B
導入 1. 社会におけるデータ・AI利活用	●現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1 社会で起きている変化	○		○	○	○	○	○			○		○	○	○		○	○	○
		1-6 データ・AI利活用の最新動向	○		○	○	○	○	○			○		○	○		○	○	○	○
	●「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2 社会で活用されているデータ	○		○	○	○	○	○			○		○	○	○		○	○	○
		1-3 データ・AIの活用領域	○		○	○	○	○				○		○	○	○		○	○	○
		1-4 データ・AI利活用のための技術	○		○	○	○	○				○		○	○	○		○	○	○
	●様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-5 データ・AI利活用の現場	○		○	○	○	○				○		○	○		○	○	○	
基礎 2. データリテラシー	●実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1 データを読む		○					○							○				
		2-2 データを説明する		○					○					○			○		○	○
		2-3 データを扱う		○		○	○		○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
心得 3. データ・AI利活用における留意事項	●活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1 データ・AI利活用における留意事項	○			○	○	○				○		○	○			○	○	
		3-2 データを守る上での留意事項	○			○	○	○				○		○	○			○	○	
選択	4. オプション	4-3 データ構造とプログラミング基礎				○	○						○	○	○		○	○	○	